

[ 2021 年度 ]

繊維製品品質管理士試験

[ V ] 論 文

◆注 意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、受験番号と氏名を必ず解答用紙に記入してください。
3. 問題用紙に解答用紙が1枚はさみこんであります。解答用紙が入っていない場合、または2枚以上入っている場合は申し出てください。
4. 解答は、解答用紙の表にだけ記入し裏には書かないでください。また、矢印に沿って横書きで書いてください。

【書き方について】

- ①書き出しは1マス空けてください。
  - ②改行して段落を変えるときは、書き始めを1マス空けてください。
  - ③読点「、」、句点「。」は1マス使ってください。ただし、行の最初には「、」や「。」を入れずに、1行前の行末の文字のところに入れてください。
5. 解答は、600字～800字で記入してください。
  6. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。十分気をつけて解答してください。
  7. 問題用紙の余白は下書きに使ってください。
  8. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
  9. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出てください。
  10. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
  11. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときにはマスクを外して顔をあげてください。
  12. 試験会場内は禁煙です。

---

次の論題に対して、600字～800字で答えなさい。

---

**[論 題]**

繊維製品の品質については、消費者からみる商品の品質と、生産者からみる製品の品質には違いがある。消費者は商品の品質として、安全性、使いやすさ、ファッション性、機能性、適正価格などを求める。一方、生産者は、消費者の求める品質以外にも、品質の安定化、コスト低減、不良率の減少、環境負荷の軽減、コンプライアンスなどを考慮して品質を確保する。このような状況下で、繊維製品品質管理士には、消費者と生産者の二つの立場からの品質を両立させた繊維製品を消費者に提供することが求められる。

そこで、繊維製品品質管理士を目指すあなたは、消費者と生産者の立場からの品質の両立を踏まえ、①製品の生産をどのように考えて進めるのか、②消費者にどのように正しい情報を提供するのか、③消費者から得られた情報をどのように製品品質に活かすのかについて、スポーツ衣料、カジュアル衣料、フォーマル衣料、子供服、作業服、寝装品などの繊維製品から具体例を一つ想定して論じなさい。

〈以下の余白は下書きに使ってください〉